


「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	木村 直人 先生 (病気治療の達人)
実施校	豊橋市立高師台中学校
実施日	平成20年11月28日 (金曜日)
実施学級	全校生徒 (641名)
授業の実際	<p>1 保健委員会の発表 本校の歯の治療状況をクイズ形式で知らせる。寸劇を交えて、歯の大切さについて全校へ問いかける。</p>  <p>2 演題「サルに学ぶところとからだ」による講演 サルの成育を通して、その生態・群れの構成などから、人にも通じる心身の成長、人との関わりの大切さについて学ぶ。 【講演の概要】 歯と健康、食と心身の健康について ・日本モンキーセンターの概要 ・ペットとのちがい ・サルに薬を飲ませる方法 ・食べ物を食べるということ ・サルの骨格とヒトの骨格 家族との触れ合い、人とのコミュニケーション、命の大切さについて ・子どもを鍛えるサルの子育て ・サルの挨拶を通しての仲間作り ・シャーマン (フクロテナガザル) の鳴き声によるコミュニケーション ・シノのおしゃべり日記 (人工保育の子ザルの話)</p>
生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・「人は他の命をもらって生きている」というお話が一番印象に残っています。人間は動物や植物に感謝しなければいけないと思いました。 ・動物も人間も「歯」が生きるためにとても必要なことや「いただきます」の本当の意味が分かりました。また、人間もサルも周りの人と挨拶することはとても大切なことだと思いました。 ・木村さんは、「自分は一人で生きているのではなく、たくさんの人たちからの支えがあってこそ、今の自分がある」と思っていれば、自然と「ありがとう」や「おはようございます」が言えるとおっしゃっていました。本当に木村さんの言うとおりだなと思いました。
教師の感想	講演時間は90分という長時間であったが、写真や動画、実物、サルの鳴き声などさまざまな資料を準備していただいたので、生徒は飽きることなく先生のお話に耳を傾けることができた。また、学校保健委員会・健全育成会の意味合いから、「歯と健康」・「こころと命」について関連させたお話を組み立てていただき、生徒はサルのことから自分たちの生活を振り返ることができる良い機会になりました。